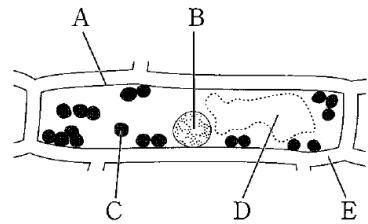


1 植物や動物の細胞について調べるために、次の観察を行った。これについて、あとの問いに答えなさい。

〔観察1〕 タマネギの表皮に約5mm四方の切れこみを入れた。その一片をはがしてスライドガラスにのせ、酢酸オルセイン液を1滴落としてからカバーガラスをかけてプレパラートをつくり、顕微鏡で観察した。

〔観察2〕 ヒトのほおの内側を綿棒でこすり取ってスライドガラスにつけ、酢酸オルセイン液を1滴落としてからカバーガラスをかけてプレパラートをつくり、顕微鏡で観察した。

〔観察3〕 オオカナダモの葉を2枚とって、それぞれスライドガラスにのせた。一方には水を1滴落としてからカバーガラスをかけ、もう一方には酢酸オルセイン液を1滴落としてからカバーガラスをかけてプレパラートをつくり、顕微鏡で観察した。右の図は、水を1滴落とした方のプレパラートを観察したときに見られた細胞のようすである。

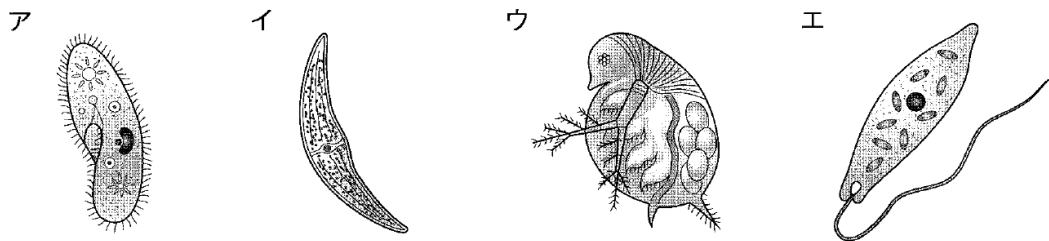


- (1) 観察1～3で酢酸オルセイン液を1滴落としたプレパラートでは、どの細胞にも赤くよく染まった部分が見られた。観察3で、酢酸オルセイン液によって①赤くよく染まる部分はどこか。図のA～Eから1つ選び、記号で答えなさい。また、②赤くよく染まる部分を何というか。名称を答えなさい。
- (2) 観察1～3で見られた細胞のつくりで、図のオオカナダモの葉の細胞にはあり、タマネギの表皮の細胞とヒトのほおの内側の細胞にはない部分はどこか。図のA～Eから1つ選び、記号で答えなさい。
- (3) 観察1～3で見られた細胞のつくりで、タマネギの表皮の細胞とオオカナダモの葉の細胞にはあり、ヒトのほおの内側の細胞にはない、細胞と細胞の間のしきりを何というか。名称を答えなさい。
- (4) 次の文は、タマネギやヒトのような多細胞生物のからだの成り立ちについて説明したものである。

①、②にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

多細胞生物のからだの中では、形やはたらきが同じ細胞が集まって①ができています。さらにいくつかの①が集まって、②という特定のはたらきをする部分ができています。

- (5) 次のうち、多細胞生物はどれか。1つ選び、記号で答えなさい。



- (1) 核(B)は染色液でよく染まる丸い粒で、どの生物の細胞もふつう1個もっている。
- (2) 植物の緑色の部分の細胞には、葉緑体(C)がある。タマネギの表皮には存在しない。
- (3) 細胞壁(E)は、細胞を保護し、植物のからだの形を保つのに役立っている。
- (5) ゾウリムシ(A)、ミカヅキモ(I)、ミドリムシ(E)は、からだが1つの細胞でできている単細胞生物である。ミジンコ(U)は、からだが多数の細胞からできている多細胞生物で、甲殻類に分類される。

(1)	①	B	②	核
(2)		C		
(3)		さいぼうへき		細胞壁
(4)	①	そしき	②	器官
(5)		ウ		